



hxcli コマンド

- [hxcli コマンド](#) (1 ページ)
- [hxcli cluster コマンド](#) (2 ページ)
- [hxcli dataprotection コマンド](#) (6 ページ)
- [hxcli datastore コマンド](#) (16 ページ)
- [hxcli disk コマンド](#) (21 ページ)
- [hxcli encryption コマンド](#) (22 ページ)
- [hxcli events コマンド](#) (25 ページ)
- [hxcli iscsi コマンド](#) (26 ページ)
- [hxcli node コマンド](#) (52 ページ)
- [hxcli security コマンド](#) (54 ページ)
- [hxcli services コマンド](#) (55 ページ)
- [hxcli tasks コマンド](#) (65 ページ)
- [hxcli vcenter コマンド](#) (67 ページ)
- [hxcli version コマンド](#) (68 ページ)

hxcli コマンド

hxcli コマンド

HX Data Platform コマンドラインインターフェイス (CLI) コマンドは、すべて **hxcli** で始まります。

hxcli [-h] {about | cluster | dataprotection | datastore | disk | encryption | events | node | security | services | tasks | iscsi | vcenter | version}

表 1: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
iscsi	いずれか 1 つが必須。	iSCSI 名前空間でサポートされているコマンド。



(注) **hxcli iscsi** コマンドについては、このガイドを参照してください。他の **hxcli** コマンドの詳細については、[HX CLI Reference](#) を参照してください。

コマンド デフォルト なし。いずれか1つのオプションが必須です。

使用上のガイドライン `hxcli` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli cluster コマンド

hxcli cluster コマンド

クラスタの名前空間で利用可能なコマンドのリストを表示します。

hxcli cluster {flags}

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		cluster のヘルプを表示します。

表 2: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン 例: `hxcli cluster` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli cluster about コマンド

サーババージョンと、ストレージクラスタ内の各ノードの製品の詳細についての情報を表示します。

hxcli cluster about {flags}

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		cluster about に関するヘルプを表示します。

Option	必須またはオプション	説明
-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか (デフォルトは wide)

表 3: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン 例: `hxcli cluster about` コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli cluster detail コマンド

ストレージクラス内の各ノードの詳細な構成情報が表示されます。

hxcli cluster detail {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		cluster detail クラスタの詳細のヘルプを表示します。
	-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか (デフォルトは wide)

表 4: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン 例: `hxcli cluster detail` コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli cluster health コマンド

ストレージクラスタの復元力の状態を表示します。

hxcli cluster health {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		クラスタ正常性のヘルプを表示します。
	-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか (デフォルトは wide)

表 5: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン 例: `hxcli cluster health` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli cluster info コマンド

ストレージクラスタ内の各ノードの詳細な構成、キャパシティ、状態、およびディスク情報が表示されます。

hxcli cluster info {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		cluster info のヘルプを表示します。
	-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか (デフォルトは wide)

表 6: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン 例: `hxcli cluster info` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli cluster shutdown コマンド

Hyperflex ストレージクラスタをシャットダウンします。

hxcli cluster shutdown {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		cluster shutdown のヘルプを表示します。

表 7: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン 例: `hxcli cluster shutdown` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli cluster start コマンド

HyperFlex クラスタを開始します。

hxcli cluster start {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		cluster start に関するヘルプを表示します。

表 8: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン 例: `hxcli cluster start` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli cluster stats コマンド

クラスタ容量の節約とキャパシティの統計情報に関連する情報を表示します。

hxcli cluster stats {flags}

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		cluster stats のヘルプを表示します。
-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか (デフォルトは wide)

表 9: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン

例: `hxcli cluster stats` コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli cluster コマンド

クラスタの名前空間で利用可能なコマンドのリストを表示します。

hxcli cluster {flags}

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		cluster のヘルプを表示します。

表 10: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン

例: `hxcli cluster` コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli dataprotection コマンド

hxcli dataprotection コマンド

データ保護名前空間でサポートされているコマンドです。

hxcli dataprotection {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		dataprotection のヘルプ。

表 11: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli dataprotection コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli dataprotection network コマンド

データ保護ネットワーク名前空間でサポートされているコマンド。

hxcli dataprotection network {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		dataprotection network のヘルプ。

表 12: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli dataprotection network コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli dataprotection network edit コマンド

レプリケーションが設定されているストレージクラスターのIPの範囲を編集し、レプリケーション帯域幅制限をセットするための手段を提供します。

hxcli dataprotection network edit {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		dataprotection network edit のヘルプ
	-b, --bandwidth int		レプリケーションの着信および発信帯域幅 (メガビット/秒)。 (デフォルトは -1)
	-s, --beginAddress string		レプリケーションIPプールの開始アドレス。
	-e, --endAddress string		レプリケーションIPプールの終了アドレス。
	-o, --output string		出力形式。 [json yaml wide] のいずれか (デフォルトは wide)

表 13: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト (または [なし (None)]) 。

使用上のガイドライン `stcli services asup` コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli dataprotection network info コマンド

ストレージクラスタで設定されているレプリケーションネットワークに関する詳細情報を表示します。

hxcli dataprotection network info {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		dataprotection network info のヘルプ
	-o, --output string		出力形式。 [json yaml wide] のいずれか (デフォルトは wide)

表 14: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト (または [なし (None)]) 。

使用上のガイドライン 例：hxcli dataprotection network info コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli dataprotection svgroup コマンド

データ保護 svgroup 名前空間でサポートされているコマンドです。

hxcli dataprotection svgroup {flags}

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		dataprotection svgroup のヘルプ。

表 15: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
5.0	このコマンドは、Cisco HX リリース 5.0 で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト（または[なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli dataprotection svgroup コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli dataprotection svgroup create コマンド

HX iSCSI LUN のストレージ ボリューム グループを作成します

hxcli dataprotection svgroup create {flags}

エイリアス (Alias)

create を指定するショートカットとしてエイリアス「cr」を使用することもできます。

hxcli dataprotection svgroup cr [flags]

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		dataprotection svgroup create のヘルプ。
-d, --description string		グループの説明です。
-m, --members string		このグループのメンバー。HX iSCSI LUNのシリアル番号のカンマ(,)区切りリスト
-n, --name string		グループの名前。

Option	必須またはオプション	説明
-q, --quiesce		休止 (注) Cisco HX リリース 5.0 (x) 以降ではサポートされていません。
-r, --replicationIntervalInMinutes		分単位のレプリケーション間隔 (注) Cisco HX リリース 5.0(x) 以降ではサポートされていません。
-s, --snapshotRetentionCount int		スナップショットの保持制限 (デフォルトは 32)
-t, --targetName string		ターゲットの名前。

表 16: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
5.0	このコマンドは、Cisco HX リリース 5.0 で追加されました。 (注) -r, --replicationIntervalInMinutes および -q, --quiesce キーワードはこのリリースでサポートされていません。

コマンド デフォルト デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン 例: `hxcli dataprotection svgroup create` コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli dataprotection svgroup delete コマンド

HX iSCSI LUN のストレージ ボリューム グループを削除します

hxcli dataprotection svgroup delete {flags}

エイリアス (Alias)

delete を指定するショートカットとして、エイリアス 「del」、「remove」、「rm」を使用することもできます。

hxcli dataprotection svgroup del [flags]

hxcli dataprotection svgroup rm [flags]

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		dataprotection svgroup delete のヘルプ。
	-g, --group-id string		グループの ID。

表 17: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
5.0	Cisco HX リリース 5.0(x) 以降ではサポートされていません。

コマンドデフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli dataprotection svgroup delete コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli dataprotection svgroup list コマンド

すべてのストレージボリュームグループと各グループの詳細情報を一覧表示します。

hxcli dataprotection svgroup list {flags}

エイリアス (Alias)

create を指定するショートカットとしてエイリアス 「ls」、 「li」 を使用することもできます。

hxcli dataprotection svgroup ls [flags]

hxcli dataprotection svgroup li [flags]

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		dataprotection svgroup list のヘルプ。
	-g, --group-id string		グループの ID
	-n, --group-name string		グループの名前。
	-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか（デフォルトは wide）
	--no header		デフォルトまたはカスタム列の出力の形式を使用する場合は、ヘッダー(デフォルトの出力ヘッダー)を出力しません。

表 18: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
5.0	このコマンドは、Cisco HX リリース 5.0 で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli dataprotection svgroup list コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli dataprotection svgroup snapshot コマンド

データ保護 svgroup 名前空間でサポートされているコマンドです。

hxcli dataprotection svgroup snapshot {flags}

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		dataprotection svgroup snapshot のヘルプ。

表 19: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
5.0	このコマンドは、Cisco HX リリース 5.0 で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli dataprotection svgroup snapshot コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli dataprotection svgroup snapshot create コマンド

ストレージ ボリューム グループ スナップショットを作成します。

hxcli dataprotection svgroup snapshot create {flags}

エイリアス (Alias)

create を指定するショートカットとしてエイリアス「cr」を使用することもできます。

hxcli dataprotection snapshot svgroup cr [flags]

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		dataprotection svgroup snapshot create のヘルプ。
	-d, --description string		スナップショットの説明。
	-g, --group-id string		グループの ID。
	-q, --quiesce		休止
	-s, --snap-name string		スナップショットの名前。

表 20: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
5.0	このコマンドは、Cisco HX リリース 5.0 で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli dataprotection svgroup snapshot create コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli dataprotection svgroup snapshot prepare コマンド

ストレージ ボリューム グループ スナップショットの準備をします。

hxcli dataprotection svgroup snapshot prepare {flags}

エイリアス (Alias)

prepare を指定するショートカットとして、エイリアス「pre」を使用することもできます。

hxcli dataprotection svgroup snapshot pre [flags]

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		dataprotection svgroup snapshot prepare のヘルプ。
	-g, --group-id string		グループの ID。
	-s, --snap-name string		スナップショットの名前。

表 21: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
5.0	このコマンドは、Cisco HX リリース 5.0 で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli dataprotection svgroup snapshot prepare コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli dataprotection svgroup snapshot delete コマンド

HX iSCSI LUN のストレージボリューム グループを削除します

hxcli dataprotection svgroup snapshot delete {flags}

エイリアス (Alias)

delete を指定するショートカットとして、エイリアス「del」、「remove」、「rm」を使用することもできます。

hxcli dataprotection svgroup snapshot del [flags]

hxcli dataprotection svgroup snapshot rm [flags]

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		dataprotection svgroup delete のヘルプ。
-g, --group-id string		グループの ID。
-s, --snap-id string		スナップショットの ID。

表 22: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
5.0	このコマンドは、Cisco HX リリース 5.0 で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli dataprotection svgroup delete コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli dataprotection svgroup snapshot list コマンド

ストレージボリューム グループ スナップショットを一覧表示します。

hxcli dataprotection svgroup snapshot list {flags}

エイリアス (Alias)

list を指定するショートカットとしてエイリアス 「ls」 、 「li」 を使用することもできます。

hxcli dataprotection svgroup snapshot ls [flags]

hxcli dataprotection svgroup snapshot li [flags]

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		list のヘルプ。
-g, --group-id string		グループの ID。
-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか (デフォルトは wide)
-s, --snapshot-id string		スナップショットの ID。
-n, --snapshot-name string		スナップショットの名前。
--no header		デフォルトまたはカスタム列の出力の形式を使用する場合は、ヘッダー(デフォルトの出力ヘッダー)を出力しません。

表 23: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
5.0	このコマンドは、Cisco HX リリース 5.0 で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト (または [なし (None)]) 。

使用上のガイドライン 例: hxcli dataprotection svgroup snapshot list コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli dataprotection svgroup snapshot export コマンド

ストレージボリューム グループ スナップショットをエクスポートします。

hxcli dataprotection svgroup snapshot export {flags}

エイリアス (Alias)

export を指定するショートカットとしてエイリアス「exp」を使用することもできます。

hxcli dataprotection snapshot svgroup exp [flags]

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		dataprotection svgroup snapshot export のヘルプ。
	-g, --group-id string		グループの ID。
	-s, --snap-id string		スナップショットの ID。
	-t, --target-name string		ターゲットの名前。

表 24: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
5.0	このコマンドは、Cisco HX リリース 5.0 で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン 例: hxcli dataprotection svgroup snapshot export コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli datastore コマンド

hxcli datastore コマンド

データストアの名前空間で利用可能なコマンドのリストを表示します。

datastore {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		datastore create のヘルプを表示します。

表 25: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト（または[なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli datastore コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

xccli datastore create コマンド

ストレージの使用およびストレージリソースを管理するためにHXデータプラットフォームプラグインによって使用される論理的コンテナを作成します。

datastore create {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		datastore create コマンドのヘルプを表示します。
	-b, --block-size string		ブロックサイズ。[4K 8K]（デフォルトは「8K」）のいずれか
	-n, --name string		データストアの新しい名前
	-s, --size int		データストアのサイズ
	-u, --unit string		ユニット。[tb gb]のいずれか
	-e, --unit string	オプション	このオプションが指定されている場合、暗号化されたデータストアを作成します。

表 26: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト（または[なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli datastore create コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli datastore delete コマンド

選択済みのデータストアを削除します。

datastore delete {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		datastore delete コマンドのヘルプを表示します。
	-i, --id string		データストアのID
	-n, --name string		データストアの新しい名前

表 27: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン 例: `hxcli datastore delete` コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli datastore edit コマンド

選択済みのデータストアの名前またはキャパシティを編集するための手段を提供します。

`datastore edit {flags}`

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		datastore edit のヘルプを表示します。
	-b, --block-size string		ブロックサイズ。[4K 8K] (デフォルトは「8K」) のいずれか
	-i, --id string		データストアのID
	-n, --name string		データストアの新しい名前
	-s, --size int		データストアのサイズ
	-u, --unit string		ユニット。[tb gb]のいずれか

表 28: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト（または[なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli datastore edit コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli datastore info コマンド

データストアの名前、マウントサマリー、ステータス、サイズ、および指定したデータストアの空き領域についての詳細を表示します。

datastore info {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		datastore info コマンドのヘルプを表示します。
	-i, --id string		データストアのID
	-n, --name string		データストアの新しい名前
	-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか（デフォルトは wide）

表 29: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト（または[なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli datastore info コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli datastore list コマンド

ストレージクラスデータストアを一覧表示します。マウントサマリー、ステータス、サイズ、およびデータストアの空き領域についての詳細を表示します。

datastore list {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		datastore list コマンドのヘルプを表示します。

Option	必須またはオプション	説明
--no-header		デフォルトまたはカスタム列の出力の形式を使用する場合は、ヘッダー（デフォルトの出力ヘッダー）を出力しません。
-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか（デフォルトは wide）

表 30: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli datastore list コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli datastore mount コマンド

指定されたストレージクラスデータストアをマウントします。

datastore mount {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		datastore mount コマンドのヘルプを表示します。
	-i, --id string		データストアのID
	-n, --name string		データストアの新しい名前

表 31: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli datastore mount コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli datastore unmount コマンド

指定されたストレージクラスデータストアのマウントを解除します。

datastore unmount {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		datastore unmount コマンドのヘルプを表示します。
	-i, --id string		データストアのID
	-n, --name string		データストアの新しい名前

表 32: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン 例: `hxcli datastore unmount` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli disk コマンド

hxcli disk コマンド0

ディスクの名前空間で利用可能なコマンドのリストを表示します。

hxcli disk {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		disk コマンドのヘルプを表示します。

表 33: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli disk コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli disk list コマンド

ノード内のストレージクラスタのディスクを一覧表示します。ディスクの名前、タイプ、ステータス、スロット、キャパシティおよびディスク使用率についての詳細を表示します。

hxcli disk list {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		disk list コマンドのヘルプを表示します。
	-h, --no-header		デフォルトまたはカスタム列の出力の形式を使用する場合は、ヘッダー（デフォルトの出力ヘッダー）を出力しません。
	-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか（デフォルトは wide）
	-s, --sort int		インデックスでリストをソートします。0 から始まります

表 34: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli events list コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli encryption コマンド

hxcli encryption backup-keys

クラスタでソフトウェア暗号化を適切に設定した後、データの破損や最終的な損失を防ぐためのキーバックアップを実行します。



- (注) HX ソフトウェア暗号化が有効になった後で、キー変更のたびごとの DEK をバックアップすることをお勧めします。以前バックアップした DEK は、クラスタでキー変更を行った後で復元できません。

以前保存したバックアップから失ったり、破損したりした場合、クラスタに暗号化された DEK 構成を復元するには、TAC にお問い合わせください。



- (注) バックアップを実行した後、ストレージ オフ クラスターのノードからファイルを scp/ダウンロードする必要があります。

hxcli encryption backup-keys {flags}

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		encryption backup-keys のヘルプを表示します。
-f, --filename string		ファイル名のパス。 (注) ファイル名の先頭は /home/admin/ でなければなりません。 (注) HX CVM の外部の安全な場所に DEK バックアップ ファイルを保存することを強くお勧めします。

表 35: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
5.0(1b)	このコマンドは、Cisco HX リリース 5.0(1b) で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト (または [なし (None)]) 。

使用上のガイドライン 例: `hxcli encryption backup-keys -f <path to file name>` コマンドでは、{} で囲まれた位置 指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli encryption info

クラスタのソフトウェア暗号化の設定ステータスを表示します。

hxcli encryption info {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		encryption info のヘルプを表示します。
	-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか (デフォルトは wide)

表 36: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
5.0(1b)	このコマンドは、Cisco HX リリース 5.0(1b) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン 例: `hxcli encryption info` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli encryption support

ソフトウェア暗号化がクラスタでサポートされているかどうかを示します。

hxcli encryption supported

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		encryption info のヘルプを表示します。

表 37: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
5.0(1b)	このコマンドは、Cisco HX リリース 5.0(1b) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン 例: `hxcli encryption supported` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli events コマンド

hxcli events コマンド

イベントの名前空間で利用可能なコマンドのリストを表示します。

hxcli events {flags}

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		events コマンドのヘルプを表示します。

表 38: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli events コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli events list コマンド

ユーザーアクションと HyperFlex ストレージクラスタで発生するシステムアクションの結果として起こる、状態変化に関連する情報を表示します。

hxcli events list {flags}

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		events list コマンドのヘルプを表示します。
-t, --eventType string		イベントタイプ。 [cluster node virtualmachine all]のいずれか(デフォルトは"all")
-l, --limit int		イベント数を制限します (デフォルトは10)
--no-header		デフォルトまたはカスタム列の出力の形式を使用する場合は、ヘッダー(デフォルトの出力ヘッダー)を出力しません。
-f, --offset int		イベントのオフセット

Option	必須またはオプション	説明
-r, --order string		イベントの昇順または降順。 [ASCEND DESCEND] のいずれか (デフォルトは DESCEND)
-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか (デフォルトは wide)
-v, --severity string		イベントのシビラティ (重大度)。 [info warning error critical all] のいずれか (デフォルトは "all")

表 39: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン 例: `hxcli events list` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi コマンド

hxcli iscsi コマンド

iSCSI 名前空間で利用可能なコマンドのリストを表示します。

hxcli iscsi [flags]

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		iSCSI コマンドのヘルプを表示します。

表 40: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト なし

使用上のガイドライン hxcli iscsi コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。



(注) iSCSIのコマンドラインインターフェイスは、hxcli でのみサポートされます。stcli でのiSCSIのサポートは計画されていません。

hxcli iscsi network コマンド

iSCSI ネットワークに関する詳細な構成情報を表示します。

hxcli iscsi network [-h] {edit | info}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	edit	必須	選択したネットワークを編集する手段を提供します。
	delete	Required	選択したネットワークを削除する手段を提供します。
	info	Required	選択したネットワークに関する詳細情報を表示します。

表 41: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト なし

使用上のガイドライン hxcli iscsi network コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi network info コマンド

iSCSI ネットワーク設定に関する詳細情報。

hxcli iscsi network info [-h] [--output string]

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-o, --output string	必須	出力形式。[json yaml wide] のいずれか。デフォルトは wide です。

表 42: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト なし

使用上のガイドライン `hxcli iscsi network` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi network create コマンド

iSCSI ネットワークの設定。

```
hxcli iscsi network create [-h] [--output string | --payload string | --ucs-host string | --user-name string ]
```

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
<code>-o, --output string</code>		出力形式。 有効な値は、json、yaml、およびwideです。 デフォルトはwideです。
<code>-p, --payload string</code>		作成ネットワークのペイロード。
<code>-n, --ucs-host string</code>		UCS ManagerのホストIPまたはFQDN。
<code>-u, --user-name string</code>		UCS での認証用のユーザー名。

表 43: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト なし

使用上のガイドライン `hxcli iscsi network` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi network edit コマンド

iSCSI ネットワークの設定。

```
hxcli iscsi network edit [-h] [--output string | --payload string | --ucs-host string | --user-name string ]
```

表 44: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-o, --output string		出力形式。 有効な値は、json、yaml、および wide です。デフォルトは wide です。
-p, --payload string		作成ネットワークのペイロード。
-n, --ucs-host string		UCS ManagerのホストIPまたは FQDN。
-u, --user-name string		UCS での認証用のユーザー名。

表 45: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト なし

使用上のガイドライン `hxcli iscsi network` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi network delete コマンド

iSCSI ネットワークの設定。

```
hxcli iscsi network delete [-h] [--output string | --payload string | --ucs-host string | --user-name string ]
```

表 46: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-o, --output string		出力形式。 有効な値は、json、yaml、および wide です。デフォルトは wide です。
-p, --payload string		作成ネットワークのペイロード。

Option	必須またはオプション	説明
-n, --ucs-host string		UCS ManagerのホストIPまたはFQDN。
-u, --user-name string		UCS での認証用のユーザー名。

表 47: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト なし

使用上のガイドライン `hxcli iscsi network` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi target コマンド

iSCSI ターゲットの名前空間で利用可能なコマンドのリストを表示します。

hxcli iscsi target [flags]

エイリアス (Alias)

ターゲットを指定するショートカットとしてエイリアス「tgt」または「targets」を使用することもできます。

hxcli iscsi tgt [flags]

hxcli iscsi targets [flags]

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		iSCSI Target コマンドのヘルプを表示します。

表 48: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト なし

使用上のガイドライン hxcli iscsi target コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi target info コマンド

ターゲットの名前、認証方式、イニシエータグループ、および LUN に関する詳細情報を表示します。

hxcli iscsi target info [-h] [--name string | --output string | --targetUuid string]

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-n, --name string		ターゲット名
	-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか (デフォルトは wide)
	-t, --targetUuid string		ターゲットID

表 49: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト なし

使用上のガイドライン hxcli iscsi target コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi target list コマンド

クラスタ内のiSCSIターゲットを一覧表示します。ターゲットの名前、IQN、および認証方式に関する詳細情報を表示します。

hxcli iscsi target list [-h] { --limit int | --offset int | --order string | --output string }

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-l, --limit int	必須	リストの数の制限。デフォルト値は 10 です。
	-f, --offset int	Required	リストのオフセット
	-r, --order string	Required	リストの昇順または降順。 [ASCEND DESCEND0] のいずれか。デフォルト値は DECEND です。

Option	必須またはオプション	説明
-o, --output string	必須	出力形式。[json yaml wide] のいずれか。デフォルト値はwideです。

表 50: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト なし

使用上のガイドライン `hxcli iscsi target` コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi target create コマンド

iSCSI ターゲットを作成します。

hxcli iscsi target create [flags]

エイリアス (Alias)

`create` を指定するショートカットとしてエイリアス「`cr`」を使用することもできます。

hxcli iscsi target cr [flags]

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help	必須	<code>create</code> のヘルプ。
-p, --payload string	Required	ターゲットのペイロード。

表 51: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト なし

使用上のガイドライン `hxcli iscsi target` コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi target edit コマンド

選択したターゲットの名前または認証を編集する手段を提供します。

hxcli iscsi target edit [-h] {--payload string | --targetUuid string}

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-p, --payload string		ターゲット ペイロード
-t, --targetUuid string		ターゲットID

表 52: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli iscsi target コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi target delete コマンド

選択したターゲットを削除します。

hxcli iscsi target delete [-h] {--name string | --targetUuid string}

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-n, --name string		ターゲット名
-t, --targetUuid string		ターゲットID

表 53: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli iscsi target コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi initiator-group コマンド

iSCSI イニシエータ グループの設定情報を表示します。

hxcli iscsi initiator-group [-h] {create | delete | edit | info | list }

エイリアス (Alias)

エイリアス「ig」、「igroup」、または「igroups」を使用して、initiator-group を指定することもできます。

hxcli iscsi ig [-h] {create | delete | edit | info | list }

hxcli iscsi igroup [-h] {create | delete | edit | info | list }

hxcli iscsi igroups [-h] {create | delete | edit | info | list }

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
create	必須	iSCSI イニシエータグループの作成
delete	Required	iSCSI イニシエータグループを削除します。
edit	Required	iSCSI イニシエータグループのデータを編集します。
info	Required	指定した iSCSI イニシエータグループに関する情報を表示します。
list	Required	ネットワーク上の iSCSI イニシエータグループを一覧表示します。

表 54: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト なし

使用上のガイドライン `hxcli iscsi initiator-group` コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi initiator-group info コマンド

イニシエータグループの詳細情報を名前およびイニシエータカウントとともに表示します。

hxcli iscsi initiator-group info [-h] { --initiator-group-uuid string | --name string | --output string }

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-i, --initiator-group-uuid string	必須/任意	イニシエータグループのID

Option	必須またはオプション	説明
-n, --name string	必須/任意	イニシエータグループ名
-o, --output string	必須/任意	出力形式。 有効な値は、json、yaml、およびwideです。 デフォルトは wide です。

表 55: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト なし

使用上のガイドライン `hxcli iscsi initiator-group` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi initiator-group list コマンド

クラスタ内のiSCSIイニシエータグループを一覧表示します。イニシエータグループの名前、IQN、およびIPに関する詳細情報を表示します。

hxcli iscsi initiator-group list [-h] { --limit int | --offset int | --order string | --output string }

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-l, --limit int		リストの数の制限 デフォルト値は 10 です。
-f, --offset int		リストのオフセット。
-r, --order string		リストの昇順または降順。 有効な値は ASCEND、DESCEND です。デフォルト値は DESCEND です。
-o, --output string		出力形式。 有効な値は、json、yaml、およびwideです。 デフォルトは wide です。

表 56: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト なし

使用上のガイドライン hxcli iscsi initiator-group コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi initiator-group create コマンド

イニシエータ グループを作成し、名前を付け、そのイニシエータを含めます。

hxcli iscsi initiator-group create [-h] [--payload string]

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-p, --payload string	Required	イニシエータ グループのペイロードです。

表 57: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト なし

使用上のガイドライン hxcli iscsi initiator-group コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi initiator-group edit コマンド

イニシエータ グループの名前、IQN、および IP を編集する機能を提供します。

hxcli iscsi initiator-group edit [-h] [--initiator-group-uuid string | --payload string]

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-i, --initiator-group-uuid string	必須/任意	イニシエータグループのID
	-p, --payload string	必須/任意	イニシエータグループのペイロード

表 58: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト なし

使用上のガイドライン `hxcli iscsi initiator-group` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi initiator-group delete コマンド

イニシエータ グループを削除します。

hxcli iscsi initiator-group delete [-h] { --initiator-group-uuid | --name string }

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-i, --initiator-group-uuid string		イニシエータ グループのID。
-n, --name string		イニシエータグループの名前を入力します

表 59: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト なし

使用上のガイドライン `hxcli iscsi initiator-group` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi allowlist コマンド

iSCSI allowlist 名前空間で利用可能なコマンドのリストを表示します。

hxcli iscsi allowlist [flags]

エイリアス

エイリアス「al」を `allowlist` を指定するショートカットとして使用することもできます。

hxcli iscsi al [flags]

表 60: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		iSCSI allowlist コマンドのヘルプを表示します。

表 61: コマンド履歴

リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト なし

使用上のガイドライン hxcli iscsi allowlist コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi allowlist add コマンド

iSCSI 許可リストに IP を追加します。

hxcli iscsi allowlist add [flags]

表 62: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		iSCSI allowlist add コマンドのヘルプを表示します。
-p, --ips stringArray		許可する IP のリストを表示します。
-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか（デフォルトは wide）

表 63: コマンド履歴

リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli iscsi allowlist add コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi allowlist clear コマンド

iSCSI 許可リストの IP をクリアします。

hxcli iscsi allowlist clear [flags]

表 64: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		iSCSI allowlist clear コマンドのヘルプを表示します。
-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか (デフォルトは wide)

表 65: コマンド履歴

リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli iscsi allowlist clear コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi allowlist remove コマンド

iSCSI 許可リストへの IP を削除できます。

hxcli iscsi allowlist remove [flags]

表 66: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		iSCSI allowlist remove コマンドのヘルプを表示します。
-p, --ips stringArray		削除する IP のリストを表示します。

Option	必須またはオプション	説明
-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか（デフォルトは wide）

表 67: コマンド履歴

リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli iscsi allowlist remove コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi allowlist show コマンド

iSCSI 許可リストの IP のリストを表示します。

hxcli iscsi allowlist show [flags]

表 68: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		iSCSI allowlist show コマンドのヘルプを表示します。
-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか（デフォルトは wide）

表 69: コマンド履歴

リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli iscsi allowlist show コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi lun コマンド

iSCSI LUN コマンドに関する設定情報を表示します。

hxcli iscsi lun [-h] {clone | create | delete | edit | info | list }

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
clone	必須	既存の iSCSI LUN を複製します。
create	Required	新しい iSCSI LUN を作成します。
delete	Required	既存の iSCSI LUN を削除します。
edit	Required	選択済みのLUNの名前またはサイズを編集するための手段を提供します。
info	Required	既存の iSCSI LUN に関する設定情報を表示します。
list	Required	ネットワーク上の iSCSI LUN を一覧表示します。

表 70: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli iscsi lun コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi lun info コマンド

LUNの名前、ステータス、LUN ID、サイズ、指定したLUNの使用可能スペースと使用済みスペースに関する詳細情報を表示します。

```
hxcli iscsi lun info [-h] { --lunUuid string | --output string | --targetUuid string }
```

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-l, --lunUuid string		LUN の uuid です。
	-o, --output string		出力形式。 有効な値は、json、yaml、およびwideです。 デフォルトは wide です。
	-t, --targetUuid string		ターゲット UUID です。

表 71: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト なし

使用上のガイドライン hxcli iscsi lun コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi lun list コマンド

ターゲットの LUN に関する情報を表示します。

```
hxcli iscsi lun list [-h] { --limit int | --offset int | --order string | --output string | --targetUuid string }
```

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-l, --limit int		リストの数の制限。デフォルトは 10 です。
	-f, --offset int		リストのオフセット。
	-r, --order string		リストの昇順または降順。有効な値は ASCEND、DESCEND です。デフォルトは DESCEND です。
	-o, --output string		出力形式。 有効な値は、json、yaml、およびwideです。 デフォルトは wide です。
	-t, --targetUuid string		ターゲット UUID です。

表 72: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト なし

使用上のガイドライン `hxcli iscsi lun` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi lun create コマンド

iSCSI LUN を作成します。

hxcli iscsi lun clone [-h] [--payload string | --targetUuid string]

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-p, --payload string		LUN のペイロードです。
-t, --targetUuid string		ターゲット UUID を定義します。

表 73: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト なし

使用上のガイドライン `hxcli iscsi lun create` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi lun edit コマンド

選択済みのLUNの名前またはサイズを編集するための手段を提供します。

hxcli iscsi lun edit [-h] { --lunUuid string | --output string | --payload string | --targetUuid string }

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-l, --lunUuid string		LUN UUID
-o, --output string		出力形式。 有効な値は、json、yaml、およびwideです。 デフォルトはwideです。

Option	必須またはオプション	説明
-p, --payload string		LUNを作成するためのペイロードです。
-t, --targetUuid string		ターゲット UUID です。

表 74: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト なし

使用上のガイドライン `hxcli iscsi lun` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi lun delete コマンド

選択したLUNを削除します。

hxcli iscsi lun delete [-h] [--lunUuid string | --targetUuid string]

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-l, --lunUuid string		LUN UUID
	-t, --targetUuid string		ターゲットUUID

表 75: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト なし

使用上のガイドライン `hxcli iscsi lun` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli iscsi lun clone コマンド

iSCSI LUN を複製するには、このコマンドを使用します。

hxcli iscsi lun clone [-h] [--payload | --vss-username string]

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-p, --payload string		iSCSI LUN ペイロードです。
-u, --vss-username string		Volume Shadow Copy Service で認証するために使用するユーザー名です。

表 76: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli iscsi lun clone コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli volume コマンド

hxcli volume コマンド

ボリューム名前空間で利用可能なコマンドのリストを表示します。

hxcli volume [flags]

表 77: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		ボリューム コマンドのヘルプを表示します。

表 78: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli volume コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli volume info コマンド

指定されたボリュームのデータストアの名前、名前空間、容量、ターゲットの詳細、データストアIDに関する詳細情報を表示します。

hxcli volume info [flags]

表 79: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		volume info コマンドのヘルプを表示します。
-n, --name string		ボリューム名を表示します。
-t, --clientid string		クライアント ID を表示します。
-i, --id string		ボリューム ID を表示します。
-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか (デフォルトは wide)

表 80: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli volume info コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli volume list コマンド

ボリューム ID、名前空間、キャパシティ、ターゲットの詳細、データストア ID を含む、ボリュームに関する情報を一覧表示します。

hxcli volume list [flags]

表 81: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		volume list コマンドのヘルプを表示します。
-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか (デフォルトは wide)

表 82: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli volume list コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli volume stats コマンド

ボリュームのキャパシティとスペースの節約に関する情報を表示します。

hxcli volume stats [flags]

表 83: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		volume stats コマンドのヘルプを表示します。
-t, --clientid string		クライアント ID を表示します。

Option	必須またはオプション	説明
-i, --id string		ボリュームIDを表示します。
-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか（デフォルトは wide）

表 84: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドのデフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli volume stats コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli volume edit コマンド

ボリュームのサイズを再設定します。

hxcli volume edit [flags]

表 85: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		volume edit コマンドのヘルプを表示します。
-c, --capacity int		データストアのキャパシティをバイト単位で表示します。
-t, ----clientid string		クライアントIDを表示します。
-i, --id string		ボリュームIDを表示します。
-n, --name string		ボリュームの新しい名前を表示します。

Option	必須またはオプション	説明
-s, --namespace string		ボリュームの名前空間を表示します。
-r, --serialNo string		LUN のシリアル番号を表示します。
-t, --targetName string		ターゲット名を表示します。
-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか (デフォルトは wide)

表 86: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli volume edit コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli volume delete コマンド

選択したボリュームを削除します。

hxcli volume delete [flags]

表 87: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		volume delete コマンドのヘルプを表示します。
-t, --clientid string		クライアント ID を表示します。
-i, --id string		ボリューム ID を表示します。

Option	必須またはオプション	説明
-n, --name string		ボリュームの名前を表示します。
-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか（デフォルトは wide）

表 88: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli volume delete コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli volume allowlist コマンド

IP へのアクセスを許可できるようにします。

hxcli volume allowlist [flags]

表 89: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		volume allowlist コマンドのヘルプを表示します。

表 90: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli volume allowlist コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli volume allowlist create コマンド

アクセスを許可するための許可リストに IP を追加します。

hxcli volume allowlist create [flags]

表 91: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		volume allowlist create コマンドのヘルプを表示します。
-c, --clientid string		クライアント ID を表示します。
-u, --payload string		IP へのアクセスを許可するためのペイロードを表示します。
-t, --task string		許可リストに IP を追加または削除します。デフォルト値は ADD です。
-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか (デフォルトは wide)

表 92: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli volume allowlist create コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli node コマンド

hxcli node コマンド

ノードの名前空間で利用可能なコマンドのリストを表示します。

hxcli node {flags}

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		node コマンドのヘルプを表示します。

表 93: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

デフォルト（または[なし (None)]）。

使用上のガイドライン

例：hxcli node コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli node info コマンド

ストレージクラスタで指定されたノードに関する詳細情報を表示します。

hxcli node info {flags}

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		node info コマンドのヘルプを表示します。
-i, --ip string		ノードUUID
-p, --ip-address string		ハイパーバイザアドレス
-n, --name string		ノード名
-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか（デフォルトは wide）

表 94: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli node info コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli node list コマンド

ストレージクラスタ内のノードを一覧表示します。ノードの名前、ハイパーバイザのアドレスとステータス、コントローラのアドレスとステータス、およびモデルについての詳細を表示します。

hxcli node list {flags}

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		node list コマンドのヘルプを表示します。
--no-header		デフォルトまたはカスタム列の出力の形式を使用する場合は、ヘッダー(デフォルトの出力ヘッダー)を出力しません。
-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか (デフォルトは wide)

表 95: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli node list コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli security コマンド

hxcli security コマンド

セキュリティの名前空間で利用可能なコマンドのリストを表示します。

hxcli security {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		security コマンドのヘルプを表示します。

表 96: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli security コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli security password コマンド

セキュリティの名前空間で利用可能なコマンドのリストを表示します。

hxcli security password {flags}

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help		security password コマンドのヘルプを表示します。

表 97: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli security password コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli security password set コマンド

ストレージクラスタ内のすべてのコントローラ VM 用のユーザ パスワードを設定します。

hxcli security password set [-h][--user string][--user diag]

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明 (Description)
	-h, --help	任意	security password set コマンドのヘルプを表示します。
	--user string	任意	ユーザー名 (デフォルトは「root」)。
	--user diag	任意	トラブルシューティング用に設計され、昇格された権限を持つ管理ユーザー アカウント

表 98: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。
5.0(2a)	このコマンドが変更されました。diag キーワードが追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン 例: hxcli security password set コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli services コマンド

hxcli services コマンド

サービスの名前空間で利用可能なコマンドのリストを表示します。

hxcli services [flags]

表 99: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		services コマンドのヘルプを表示します。

表 100: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli services コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli services asup コマンド

すべての ASUP コマンドの一覧を表示します。

hxcli services asup [flags]

表 101: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		ASUP コマンドのヘルプを表示します。

表 102: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli services asup コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli services asup list コマンド

拡張 ASUP 情報 (RecipientList) を表示します (有効な場合)

hxcli services asup list [flags]

表 103: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		ASUP list コマンドのヘルプを表示します。
-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか (デフォルトは wide)

表 104: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli services asup list コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli services dns コマンド

DNS名前空間で利用可能なコマンドのリストを表示します。

hxcli services dns [flags]

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help	help for dns	services dns コマンドのヘルプを表示します。

表 105: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン 例：hxcli services dns コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli services dns list コマンド

ストレージクラスタで利用可能なDNSサーバを一覧表示します。

hxcli services dns list [flags]

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help	help for list	services dns list コマンドのヘルプを表示します。
-o, --output string	Output format. One of: [json yaml wide] (default "wide")	出力形式は、次のとおりです。 [json yaml wide] のいずれか（デフォルトは wide）

表 106: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト（または[なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli services dns list コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli services dns add コマンド

DNS サーバリストにサーバを追加します。



(注) クラスタのオフライン時にこのコマンドを使用します。

hxcli services dns add [<space seperated ip addresses>] [flags]

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help	help for add	services dns add コマンドのヘルプを表示します。

表 107: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli services dns add コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli services dns clear コマンド

コマンドを使用して、DNSサーバリスト内の既存のサーバリストから、1つ以上またはすべてのDNSサーバを削除します。



(注) クラスタのオフライン時にこのコマンドを使用します。

hxcli services dns clear [flags]

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help	help for clear	services dns clear コマンドのヘルプを表示します。

表 108: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli services dns clear コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli services dns set コマンド

DNSサーバリスト内の既存のサーバリストを削除して置き換えます。



(注) クラスタのオフライン時にこのコマンドを使用します。

hxcli services dns set [<space seperated ip addresses>] [flags]

表 109: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help help for set		services dns set コマンドのヘルプを表示します。

表 110: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli services dns set コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli services ntp コマンド

NTP名前空間で利用可能なコマンドのリストを表示します。

hxcli services ntp [flags]

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help help for ntp		services ntp コマンドのヘルプを表示します。

表 111: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン

例: hxcli services ntp コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli services ntp list コマンド

ストレージクラスタで利用可能なNTPサーバを一覧表示します。

hxcli services ntp list [flags]

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help help for list	必須/任意	services ntp list コマンドのヘルプを表示します。
	-o, --output string Output format. One of: [json yaml wide] (default "wide")		出力形式は、次のとおりです。 [json yaml wide] のいずれか (デフォルトは wide)

表 112: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン 例: hxcli events list コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli services ntp add コマンド

DNSサーバのリストに1つ以上のNTPサーバを追加します。



(注) クラスタのオフライン時にこのコマンドを使用します。

hxcli services ntp add [<space seperated ip addresses>] [flags]

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help help for add		services ntp add コマンドのヘルプを表示します。

表 113: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン 例：hxcli services ntp add コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli services ntp clear コマンド

コマンドを使用して、DNSサーバリスト内の既存のサーバリストから、1つ以上またはすべてのNTPサーバを削除します。



(注) クラスタのオフライン時にこのコマンドを使用します。

hxcli services ntp clear [flags]

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help	help for clear	services ntp clear コマンドのヘルプを表示します。

表 114: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト（または[なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli services ntp clear コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli services ntp set コマンド

NTPサーバリスト内の既存のサーバリストを削除して置き換えます。



(注) クラスタのオフライン時にこのコマンドを使用します。

hxcli services ntp set [<space separated ip addresses>] [flags]

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help	help for set	services ntp set コマンドのヘルプを表示します。

表 115: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli services ntp set コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli services timezone コマンド

TimeZone 名前空間で利用可能なコマンドのリストを表示します。

hxcli services timezone [flags]

表 116: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		TimeZone コマンドのヘルプを表示します。

表 117: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli services timezone コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli services timezone list コマンド

システムで設定されたタイムゾーンを表示します。

hxcli services timezone list [flags]

表 118: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		time zone list コマンドのヘルプを表示します。
-o, --output string		出力形式。[json yaml wide] のいずれか（デフォルトは wide）

表 119: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

なし

使用上のガイドライン

hxcli services timezone list コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli services timezone edit コマンド

システムのタイムゾーンを設定できます。

hxcli services timezone edit[flags]

表 120: 構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help		set time zone コマンドのヘルプを表示します。
-t, --timezone string		新しいタイムゾーン値です。

表 121: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

なし

使用上のガイドライン

stcli services timezone edit コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli tasks コマンド

hxcli tasks コマンド

タスクの名前空間で利用可能なコマンドのリストを表示します。

hxcli tasks [flags]**構文の説明**

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help	help for tasks	tasks コマンドのヘルプを表示します。

表 122: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト

デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン

例: hxcli tasks list コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli tasks info コマンド

ストレージクラスタで完了したタスクに関連する詳細な情報を表示します。

hxcli tasks info [flags]**構文の説明**

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help	help for info	tasks info コマンドのヘルプを表示します。
-h, --help	help for info	タスク ID です。

Option	必須またはオプション	説明
-h, --help help for info		出力形式は、次のとおりです。 [json yaml wide] のいずれか（デフォルトは wide）

表 123: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli events list コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli tasks list コマンド

ストレージ クラスタで完了したタスクに関連する詳細な情報を表示します。

hxcli tasks list [flags]

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help help for info		tasks list コマンドのヘルプを表示します。
	-h, --help help for info		タスク ID です。
	-h, --help help for info		出力形式は、次のとおりです。 [json yaml wide] のいずれか（デフォルトは wide）

表 124: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン stcli services asup コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli tasks watch コマンド

ストレージクラスタで実行中のタスクを表示します。

hxcli tasks watch [flags]

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help	help for info	tasks watch コマンドのヘルプを表示します。
	-h, --help	help for info	タスク ID です。
	-h, --help	help for info	出力形式は、次のとおりです。 [json yaml wide] のいずれか (デフォルトは wide)

表 125: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン 例: `hxcli tasks watch` コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli vcenter コマンド

hxcli vcenter コマンド

VCenter名前空間で利用可能なコマンドのリストを表示します。

hxcli vcenter [flags]

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help	help for vcenter	vcenter コマンドのヘルプを表示します。

表 126: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli vcenter コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli vcenter info コマンド

クラスタ名、vCenter URL、vCenterのクラスタ名とID、およびvCenterデータセンター名とIDに関する詳細情報を表示します。

hxcli vcenter info [flags]

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help	help for info	vcenter info コマンドのヘルプを表示します。
	-o, --output	string	出力形式は、次のとおりです。 [json yaml wide] のいずれか（デフォルトは wide）

表 127: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン stcli services asup コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

hxcli version コマンド

hxcli version コマンド

HX CLIのバージョンを表示します。

hxcli version [flags]

構文の説明	Option	必須またはオプション	説明
	-h, --help	help for version	version コマンドのヘルプを表示します。

表 128: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
4.5(1a)	このコマンドは、Cisco HX リリース 4.5(1a) で追加されました。

コマンドデフォルト デフォルト（または[なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：hxcli version コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。